

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業費	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	史跡・遺跡・文化財等の保全と保護	班名	歴史文化財班
		事業コード	

事業の目的	地域で埋もれている遺跡の記録保存を行い、歴史的財産を後世に伝える。 発掘調査結果を公表し、地域の成り立ちについての理解を深める。			
事業の内容	・本堂城回地区調査及び詳細分布調査 ・県指定史跡「本堂城跡」及び町道改良に伴う発掘調査 ・町内指定史跡等の保存管理			
事業の対象	町民			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)	17,715	17,775	43,523
	うち一般財源等 (千円)	3,049	2,850	10,698
	人件費 (千円)			
総コスト +		17,715	17,775	43,523

事業実績・成果 (指標)	名 称	単位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	本発掘調査	m2	2,200	4,027	8,700
	本堂城跡学術調査	m2	84		20
	現地調査・報告会	回	2	1	2

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	森崎 遺跡・城方小屋遺跡の発掘調査では、城柵官衙(払田の柵)の周辺部の様子を明らかにするとともに、柵列跡を発見するなど大きな成果をあげている。また、試掘調査では縄文時代から中世までの遺跡を発見し、その多くを保全することができた。さらに、本堂城の外堀を特定するなど成果があがっている。			
事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。	